

ARIHHP ヒューマン・ハイ・パフォーマンス・フォーラム2020 タイムテーブル 2月17日(月)

時間	演者・演題		座長
9:00-9:05	開会挨拶	征矢 英昭	筑波大学体育系 ARIHHP センター長
第1部 プレスカンファレンス「東京オリパラとその先に向けたスポーツサイエンスの挑戦」			
[1] 特別講演「メディアとスポーツ、オリパライヤー・ポストオリパラにおけるスポーツサイエンスへの期待」			
9:05-9:25	メディア関係者① 放送局	中原 常雄 NHK 水戸放送局 局長 竹内 哲哉 NHK 制作局 副部長 / 解説委員	浅井 武 小倉 かさね
9:25-9:40	メディア関係者② 新聞社	館林 牧子 読売新聞 編集局医療部 部長	
9:40-9:55	メディア関係者③ 大学広報	鴨志田 公男 筑波大学広報室 教授 筑波大学新聞編集代表 サイエンスコミュニケーター	
9:55-10:05	質疑応答		
[2] ARIHHP 最新研究成果報告			
10:15-10:30	① 心部門	松井 崇、岡本 正洋、諏訪部 和也、越智 元太、雨宮 怜	松井 崇 藤井 直人 洪 性賛
10:30-10:45	② 体部門	麻見 直美、門間 貴史、下山 寛之、藤井 直人	
10:45-11:00	③ 技部門	洪 性賛	
11:00-11:30	質疑応答 (記者会見)		
11:30-13:00	ランチ&ポスターセッション (総合研究棟 D 1 階ギャラリー)		
第2部 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス Collaborative Research シンポジウム			
ARIHHP 公募型研究プロジェクト採択者講演			
13:00-14:10	① 井上 恒志郎	北海道医療大学 リハビリテーション科学部・全学教育推進センター 講師 「記憶の固定化を増強する運動強度と神経回路の探索」	松井 崇 角川 隆明
	② 松下 明	茨城県立医療大学 保健医療学部附属病院 講師 「機能的 MRI による運動中の脳活動解析法の構築」	
	③ 樽味 孝	産業技術総合研究所 人間情報研究部門 主任研究員 「若年男性における高強度有酸素性運動トレーニングが近位大動脈に及ぼす影響 - MRI を用いた検討 -」	
	④ 鍋倉 賢治 青柳 篤	筑波大学 体育系 教授 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程3年 「トライアスロンにおける適正ベースの探索的研究」	
	⑤ 村井 昭彦	産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 主任研究員 「マルチモーダルな運動計測環境の開発と人間拡張技術への展開」	
14:10-14:30	Coffee Break		
ARIHHP Human High Performance International forum 2020 "Sports Sciences for Olympic and Paralympic Games"			
14:30-18:00	Please see the International Forum Timetable		
18:15-20:15	情報交流会 (Reception) / SRIP 若手研究者育成プログラム修了者授与式		

※本講座の発表内容については、参加者による写真撮影・録音・録画はできません。
また、本講座で知り得た内容を参加者が主催者の許諾なしに公開することはできません (SNS 等含む)。



筑波大学体育系 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター
Advanced Research Initiative for Human High Performance (ARIHHP)

www.arihhp.taiiku.tsukuba.ac.jp/

